

人のうごき

令和5年5月届出分を掲載（希望者のみ）

おたんじょう

三浦 悠人^{はると}くん（宏樹・めぐみ） 南5の1
倉田 桜暖^{かのん}ちゃん（惇平・晴香） 南町

おくやみ

池田 佐一郎^{さいちろう}さん 103歳 栄町
竹中 ツヤ^{つや}さん 97歳 北町
南部 光明^{あきみつ}さん 72歳 上築
川村 フジ子^{ふじこ}さん 93歳 築別
島 弘慶^{ひろけい}さん 84歳 幸町
庄中 良子^{りょうこ}さん 83歳 栄町
山口 ミヨ子^{みよこ}さん 90歳 栄町
阪本 義人^{よしのり}さん 86歳 南町
石下 栄子^{えいこ}さん 89歳 北4の3
蝦名 國枝^{くにえだ}さん 92歳 栄町

人口と世帯数（5月末）

人口	6,234人	（－16）
男	3,019人	（－5）
女	3,215人	（－11）
世帯数	3,401世帯	（－6）

（ ）は前月比

戸籍の届出について

戸籍の届出は休日に対応しています。休日にお越しの際には連絡事項等がございますので、事前に町民課総合受付係までお電話ください。（☎ 68-7003 ※休日可）



Dr. 佐々尾の健康カルテ

先月から「健康」には社会的な要素も重要で、「健康の社会的決定要因」として近年注目されていることをお伝えしました。「健康格差」という言葉も同様に取り上げられるようになっていますが、個人（人種や性別、遺伝子情報など生物学的なこと）によらない健康格差を生じる社会的な要因のことを指しています。自分自身の中に持っていること以外の要因で、健康に影響を与えるもの全てです。例えば、家族・家庭、教育歴、職業、経済状況、生活習慣などの個人的なこと、住んでいるところが都会なのか地方なのか、環境、社会的なつながりやサポートなどの集団・地域のこと、住んでいる国の政治、治安、経済状況、文化、気候などの制度的なことなど様々です。個人的なことでは、所得が低いほど抑うつになりやすいこと（約4～7倍の格差があり、抑うつから閉じこもりや認知症のリスクが高まる）、集団のことでは都会ほど認知症のリスクが低いこと（地域格差は約3倍ある）、制度的なことでは、タバコの値段が高い国ほど喫煙率が低い・・・といったことでしょうか。周囲の環境によって、知らないうちに健康を害してしまうことがわかってきており、健康を害する要因のうち、社会的な要因が半数を占めているとする報告もあります。

「どうしてジェイソン君は病院にいるの？」という寓話があります。足に感染を起こしたジェイソン君が入院しており、感染を起こしたのは住居の隣の廃品置き場で遊んでおり、そこにあった尖った鉄で傷がついたからであり、そのような場所に住むのは父が無職、母が病気であり経済的状況からやむを得なかった・・・というものです。このように健康を害する社会的な要因は1つではなく、複数が連鎖していることを示しています。そして、この寓話は子供の病気を例にしていますが、健康格差が生じる要因の1つとして、子供の頃からの蓄積が成人期に影響していることが示されています。とくに子供の時の家庭の社会経済状況は、家庭環境、生活習慣、教育などに影響すると考えられます。高齢期のうつや物忘れに関連しているとの報告も出てきています。子育て世代への対策が昨今注目されていますが、少子化対策という観点が大いものの、将来の日本の健康も考えられているのかもしれない。

今月から町内の一部の公民館などをお借りし、健康の社会的決定要因やその対策をお話しする予定です。もし機会があればぜひご参加ください。

（北海道立羽幌病院 副院長 佐々尾 航 医師）



広報はぼろ 令和5年6月号 No.720 発行 羽幌町 078-4198 北海道苫前郡羽幌町南町1番地1 編集 地域振興課
電話 0164(68)7013 FAX 0164(62)1219 メール c-kouhou@town.haboro.lg.jp ホームページ www.town.haboro.lg.jp